

偶数月「抱樸館を支える会」会員の方にお届けしています

抱樸館を支える会 会報



2026

10月
vol.79

2026年10月1日発行:抱樸館を支える会

抱樸館を卒業しても つながりは続く

抱樸館を卒業しても、それで終わりではありません。
自立して仕事に就いたあとも、思うようにいかなかったり、
人生の中でつまずいたりすることもあるでしょう。
そんなときは、話を聴き、一緒に考え、
ときには一緒に動きながら、その人らしい
暮らしを支えていきます。

ここでの出会いは、一生涯のつきあい。
新しい生活の中で、ひとりぼっちにならないように、
抱樸館は、いつでも帰ってこられる
「ホーム」であり続けます。



一緒に考え、寄り添う
「ホーム」としての抱樸館
(抱樸館福岡)

秋の交流会
衣類の展示配布
を行いました
(抱樸館熊本)



カフェさんぽみち

卒業生同士がカフェの場で再会
入居者や地域の方たちとの
新たな交流も生まれています
(抱樸館福岡)



contents

特集 抱樸館を卒業しても

- 抱樸館卒業生インタビュー…………… 2 p
- 退去時アンケート…………… 3 p
- 抱樸館福岡アフターフォロー…… 4 p・5 p

- みんなの居場所…………… 6 p
- 抱樸館だより(抱樸館北九州)…………… 7 p
- 抱樸館情報・会報誌アンケート…… 8 p



抱樸館福岡の卒業生に、お話をうかがいました。

ここから、またやり直す ～抱樸館で自分を見つめ直して～

転々とさまよって

—抱樸館に入居する前、どんな生活をされていて、抱樸館に来るようになったのか教えてもらっていいですか。

マンションの強制退去を受けて、それから自転車で点々として、あちこちで野宿生活みたいなことをやってたんです。抱樸館に来る半年前ぐらいかな。

—マンションの家賃が払えなくなったのはどうしてですか？

住民税の滞納が続いて、それがきっかけで借金し始めて、最終的には仕事も手につかなくなってしまっただけで、うつ状態、ノイローゼ気味になってしまったんです。夜も眠れないし、仕事も行けなくなったけど会社に黙っていました。

—野宿の生活を半年間ぐらいした後、どうして抱樸館のことを知ったんですか。

ある公園で野宿している時、お金もほとんどなくなって、もう限界の状態になったんです。ちょうどその時、ある人が来て、ここは公園だからテント生活は困る、出て行ってくれと言われました。その人が抱樸館の住所と電話番号を教えてくれて、ここに行ったら助けてもらえるよと。それで自転車でここまで来たんです。

うわあ、救われた

—抱樸館に初めて来た日のことを教えてください。

もう、気持ち的にものすごく、抱樸館の前に立った瞬間に、なんか「うわあ、救われた」という気持ちになりました。その時に最初にインターホンを押して出てきてくれた職員さんが、いわゆるマドンナみたいな微笑みで対応してくれたことを覚えています。

すぐ館長さんが面談してくれて、感動して涙が溢れて…。「お腹空いたでしょう。どうぞご飯を食べて」とご飯を出してくれました。泣きながらご飯を食べたのを覚えてます。

正直、自分の人生は諦めていたんです。

いつ死のうかという状況までなっていたので、抱樸館を訪ねてきて、「ああ、俺ってもう一回人生やり直していいんだ」という気持ちになったのは、はっきり覚えてます。

—入居してすぐに精神科にかかりましたね。

そうですね。でも抱樸館に来た時点で気持ちが前向きになっていましたので、回復が早かったです。

—抱樸館の生活はどんな感じでしたか？

抱樸館にいる間、日記をつけていました。たまに読み返すと、自分を見つめ直すことになったし、不安もあったんですが、またやり直せるって前向きになれて。よし、それなら毎日日記つけていこうと思って。その時の気持ちを書いとけば、抱樸館を出てからも役に立つかもしれないという思いもありました。

—抱樸館から自立、出発ができることになった時はどういう状態でしたか。

やっぱり何よりお金です。引っ越ししても明日お金がないと大変だし。20万円くらいは貯金できていました。

お金を貯めて、夢をかなえたい

—今の生活いかがですか。どのような仕事をしていますか。

もう、快適です。静かだし、自分の城っていうか。

仕事は物流倉庫です。そこの正規アルバイトで結構収入も安定してますから、充実してます。

抱樸館に来て、人生やり直そうって思った時に、もしかして長生きするかもしれないと。長生きして年金だけで生活するようになった時に、不安だなと思ったから、年金受給を先延ばしして、しばらくギリギリまで仕事を頑張ろうと思っています。

—これからの楽しみや目標、夢など、教えてください。

それと、抱樸館に何か一言あったらお願いします。

夢はやっぱり早く生活を安定させて、休みの日は趣味の山登りに行けるようにしていきたいです。

それにはとりあえず足があるから、オートバイを買うために、今ちょっとまたお金を貯めています。

抱樸館は、多くの私みたいな人を助けていただきたいと思っています。

—はい、頑張ります。今日はありがとうございました。

抱樸館福岡の「退居時アンケート」より



抱樸館福岡では、退居時に“新しい生活を始めるみなさまへ”アンケートをお願いしています。この1年間に退居した方のアンケートを一部紹介します。



■ 40代の男性

入居前は集団生活に馴染めるかどうか不安もありましたが、毎日食事を用意していただいたり、規則正しく過ごさせていただけのおかげで、生活リズムを整えやすく、心身ともに安定して生活することができました。

また、職員の方や他の入居者の方々との関わりを通して、人とのつながりを感じられたことが大きな支えになりました。本当にありがとうございました。

ここでの生活で身につけた生活リズムや人とのつながりを大切にしながら、これからの暮らしは安定させていきたいと思います。また、環境では自分の力で前に進んでいけるよう努力しつつ、支えていただいた方々への感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。

スタッフより

新たな生活の一步を踏み出せる日が来たことにとっても大きな喜びを感じています。

人との関わりが一番の課題でもありましたが、いつの間にか気の合う仲間が少しずつできましたね。これからもそれ以上でも以下でもなく、無理なく表現できる今の環境を大切に保ち、小さな楽しみや発見を見つけて過ごしてください。応援しています。

■ 70代の女性

抱樸館に来た時は疲れ果てて、ベッドに倒れたことが嘘みたいです。

職員の方、入居者の方に親切にしてください、7ヵ月になりました。やっと安心できるホームに行くことができます。

皆様には感謝しています。皆様も大変でしょうが、健康に気をつけてください。

スタッフより

抱樸館での生活が、少しでも心と体を休める助けになっていたのなら、私たち職員にとって何よりの励みです。新しいホームへ向けて安心して歩み出される姿を見られることが、とても嬉しく誇らしく感じています。どうか無理をせず、ご自身のペースで穏やかな日々を重ねていってください。

私たちもいただいた言葉を力にして、これからも健康に気をつけながら頑張っていきます。

■ 60代の男性

自力での生活ができなくなった自分自身を見つめる場所と時間を与えてもらい、そこから新しい生活に向かうことができました。ここでの生活では、自分の甘さと金銭に対する考え方をもう一度見直し、同じような人と話をしたり、自分にも仲間ができ、有意義な生活を送ることができました。

担当だった職員の方、他の職員の方、お世話になりました。ありがとうございました。ここでの生活で領収書を取って現金出納帳をつけることを習慣づけてきました。今後も自立に向け金銭管理に気をつけ、来年は年金をもらうので、新たな生活の一步を踏み出したいと思います。

スタッフより

新たな一步を踏み出されるとのこと、本当におめでとうございます。抱樸館福岡での生活の中で、課題とまっすぐに向き合い、一步一步変わっていかれる姿を近くで拝見してきました。来年はいよいよ年金をもらいながらの新しい生活が始まりますが、しっかりと体調に気を配り、ご自身で築かれた金銭管理の習慣を大切にしながら、一步步確実にあゆみを進めていただければと思います。

困った時はここで見つけた仲間や、私たちのことを思い出していただき、これからの人生が、より豊かで実りあるものになることを信じ、スタッフ一同より応援しています！

自立のその先も—— 抱樸館福岡が届ける「アフターフォロー」のいま

抱樸館福岡で行っている、卒業生への様々なサポート(アフターフォロー)について、青木館長からメッセージが届きました。



抱樸館福岡 館長
青木康二さん

抱樸館福岡が開所して、早いもので16年が経ちました。たくさんの方々が、新しい生活への希望を胸に「自立」して地域へと旅立ちましたが、その方々も等しく歳を重ねられています。60歳だった方は76歳に、65歳だった方は81歳に。今も地域で懸命に一人暮らしを続けておられます。

しかし、歳月は心身にさまざまな変化をもたらします。足腰が弱くなったり、病気がちになったり、ときには認知症を患うこともあります。

身の回りの世話をしてくれるご家族がおらず、一人きりで暮らしを維持することが難しくなっていく——今や社会全体の大きな課題である「孤独・孤立」は、かつて抱樸館にいらした方々にとっても、決して例外ではありません。

制度の枠を超えて、人生に寄り添う

そんな方々の暮らしと心を守るため、抱樸館福岡では「アフターチーム」が日々活動しています。

抱樸館福岡は2026年4月から「※1日常生活支援住居施設(日住)」を5部屋増やして40室とし、「※2無料低額宿泊所(無低)」を5部屋減らしました。「日住」は、福岡市外にお住まいの方も利用対象となります。福祉的ケアを必要とする方の受け入れ枠が拡大しました。

病院への同行や新しい施設探し、お部屋の片づけやアパートの解約手続き、後見人の手続きなど、支援の内容は多岐にわたります。

実は、こうした「自立後」の継続的なサポートには、長らく行政の公的な仕組みがありませんでしたが、令和7年度(2025年度)から、ようやく「日常生活支援住居施設(日住)」の退居者に対する公的な支援制度——「※3居宅移行支援」ができました。

抱樸館福岡でもすでに多くの方がこの支援を利用されており、現在、「居宅移行支援」で支えている方は10人ほど——「退居後も訪問して話を聞いてくれるので、本当に心強い」という声をいただいています。

「居宅移行支援」は、退居後のアフターケアが公的に評価された貴重な制度ですが、「原則1年間」という期限や内容の制約があり、長期的な支援には、「制度外のフォロー」が欠かせません。

「制度外のフォロー」の多くは、以前も今も「抱樸館の持ち出し」で賄っているのが実情です。

「おかえり」と迎えられる場所があること

一人暮らしを続けるのが難しくなったとき、すぐに次の居場所が見つからなくても、一度「抱樸館福岡」へ戻ってこられる体制を維持できること——それは他でもない、「抱樸館を支える会」の皆様の温かいご支援があるからこそ実現できています。心より感謝申し上げます。

私たちは、「自立」したら支援は終わり」とは考えていません。困ったとき、不安なときに、いつでも手が届く場所に誰かがいる。そして、いつでも「おかえり」と温かく迎え入れられる場所であり続けること——それこそが、私たちの目指す支援のかたちです。「孤独・孤立」が深刻化する世の中だからこそ、一人ひとりの人生に長く、深く寄り添い続けてまいります。

「抱樸館を支える会」の皆様、どうかこれからも温かく見守り、お力を貸していただけますと幸いです。

※1 日常生活支援住居施設(日住)

生活保護を受給している方のうち、日常生活で一定の支援が必要な方に対して、住まいと支援を一体的に提供する施設です。抱樸館福岡は、81部屋中40部屋が「日住」になっています。

※2 無料低額宿泊所(無低)

生活困窮者に対し、無料または低額な料金で宿泊場所や簡易住宅を提供する施設です。主にホームレス状態の方や、直ちに自活が難しい人へ一時的な居住の場や生活支援を行います。

※3 居宅移行支援

「日住」の利用者がアパートなどへ移行し、地域で一人暮らしを定着できるよう段階的に伴走する仕組みです。月2回以上の訪問などを通して新生活や手続きをサポートします。

抱樸館福岡のアフターフォロー

対象者

過去に抱樸館を利用されたすべての方です。現在、約1,781人の方が退居されていますが、その内、逝去された方や連絡が取れない方を除いた約800人の方々が連絡を取る対象者です。

支援の内容

就労相談、居住相談、法律相談、介護保険の相談、障がい者支援からスマホの使い方まで多岐に渡ります。

卒業した後のつながり

抱樸館福岡

食 べる



お弁当のご用意が可能です。近隣にお住まいでご来館が難しい方には、配達も承っています。

連絡

お誕生日をお祝いするバースデーコールを通して、お知らせや近況のお伺いを行っています。また、お正月にはスタッフからのメッセージを添えた年賀状をお届けしています。

集 う

毎月第2金曜日は「カフェさんぽみち」を開催。卒業生だけでなく、どなたでもご利用いただける、地域に開かれた憩いのスペースです。



こだわりのコーヒー・飲み物を
はじめ全メニュー 税込100円!



ボランティア
「はんどらびんぐチームone!」
によるハンドトリートメント

吊 う



生活保護を受給されている方が亡くなったときには「葬祭扶助」が支給されています。棺代、移送費、火葬まではまかなうことができますが、お経をあげてもらったり、お花代などは支給されません。
抱樸館福岡では、NPO法人 おとむらい牧師隊に協力いただいて、お葬式ができるようになっています。

絆



2018年、抱樸館では「絆」というお墓を篠栗町の霊園に建立しました。納骨式を年に2回執り行っています。希望する卒業生は誰でも一緒に眠ることができます。

抱樸館福岡では

一度出会った人を孤立させないために
生活再建や自立を果たした後も
継続して関わりを持ち続けています

みんなの居場所

居場所作り6月 月次報告書より

！「抱樸館を支える会」の会費は、子どもたちへの支援にも活かされています。

グリーンコープは子どもたちや地域の皆さんが安心して過ごせる居場所づくりをしています。子どもたちが気軽に立ち寄って遊んだり、宿題をしたり自由に過ごせる場所です。おとなも一緒に過ごせます。

熊本県
(人吉市)

みんなの居場所 ひだまり

午前授業の子ども達が早くに来たので、一緒におやつを作りました。玉子焼き機でバームクーヘンをつくりました。人吉の広報誌に載せる写真を担当の方が撮りに来てくれました。みんな、張り切って写ってくれました。保育園に通う園児が、園に七夕の飾りを持っていくとのことで、小学生と一緒に沢山作りました。



／ ＊ ＊ ＊
おいしく
＊ な～れ！



【出張ひだまり】

6つの小学校がある他の校区に、「出張ひだまり」を5月から開催しています。まだ利用人数は少ないですが、今後増えればいいなと思っています。



鹿児島県
(鹿児島市)

みんなの居場所 吉野寺みらい食堂

初めて参加された親子が、帰る際に「おいしかったです」「また来ます」と声をかけていただき嬉しかったです。また、子ども園の先生方による読み聞かせや、外では吉野寺マーケットも開催でき、和やかな雰囲気でした。



お天気がいい日は自分の家で使わなくなった洋服や文房具、子ども用品を持ち寄り、自由に持って帰っていいという吉野寺マーケットをしています。新品で綺麗なものが並んでいたりするので、喜んでやり取りしているようです。

広島県
(広島市)

みんなの居場所 よりんさい家

今日は居場所ではじめて“おむすびの日”をしました。みんながどれくらい食べるか、食べない子がたくさんいたらどうしようと心配でしたが、みんなとても喜んで、あっという間になりました。お米はグリーンコープのお取引先(生活アートクラブ)から寄付していただいたもので、みんなでお礼のお手紙を書く予定です。



ふりかけと鮭フレークを
トッピングで出して人気でした





「抱樸館だより」では抱樸館北九州・福岡・熊本より「旬」の話題をお届けします。

今回は、抱樸館北九州からメッセージが届きました。

入居者一人ひとりの思いに寄り添いながら、
安心して暮らし続けられるよう
支援を行っています。

みんなと力を合わせて寄り添います

先日、入居者のSさんが入院された際、24時間体制で数日間の付き添いが必要となりました。しかし、職員だけでは十分な対応が難しかったため、NPO法人抱樸の正会員の皆さまへ付き添いボランティアを募集しました。多くの方が快く手を挙げてくださり、職員とボランティアが協力しながら病室での見守りや話し相手となり、Sさんを支えることができました。

入院生活の中で、Sさんは何度も「早く抱樸館に帰りたい」「抱樸と出会えて本当に良かった」と話されていました。その言葉から、抱樸館が安心して帰れる居場所となっていること、そして職員だけでなく、多くの方々の支えがその安心につながっていることを改めて実感しました。

ご協力くださった正会員の皆さまに心より感謝申し上げます。これからも職員とボランティアが力を合わせ、「誰一人取り残さない」という理念のもと、一人ひとりに寄り添う支援を続けてまいります。



入居者Sさんと抱樸館北九州職員

声掛けボランティアのご家族と会うのが楽しみです。
子どもたちは、孫のような存在で、入院中は会えなくて、寂しかった～。
抱樸の皆さんには感謝しかありません。



抱樸館福岡へ見学に来てみませんか？



- グリーンコープ生協の組合員で見学を希望される方は、所属生協を通じてお申し込みください。
- 見学を希望される方(一般)は、抱樸館福岡にお電話ください。

☎ 092-624-7771

● 見学の申込みについて

実施日 月～金(祝日を除く)
所要時間 11:00～12:00(相談可)
費用 1000円/1人
(昼食をご希望の方は別途費用がかかります)
定員 20人/1日

申込み締め切り 希望日の2週間前まで

※日程の変更をお願いする場合があります。

※お子さん(11歳まで)を同伴の場合、お子さんの見学料は必要ありませんが、昼食は各自ご準備下さい。また入居者に迷惑がからないよう保護者及び同行者でご注意下さい。

会報誌の感想をお聞かせください

アンケートのご協力をお願いします

10月号
アンケートフォーム

会報誌10月号はいかがでしたでしょうか？すべての項目にお答えいただく必要はありませんので、お気軽にご協力ください。

アンケートは今後の誌面づくりの参考にさせていただきますために、実施しています。お寄せいただいたご意見や感想の一部を、誌面で紹介させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

2026 8月号のアンケートより



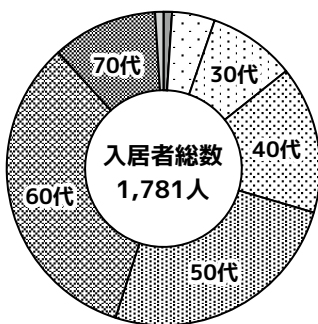
北九州Tさんの記事には嬉し涙が出ました。実は賛助会員になったのはTVのドキュメンタリー番組を観てからです。入居者の方の困難が自己責任ではなく仕方ないことを皆様に伝えてほしいです。応援しております。(岡山50代)

【人生の終わりまで寄り添うということ】一人ひとりの人生を尊重している姿勢が伺えました。(大阪50代)

抱樸館福岡の様子を知ることのできる会報を毎回楽しみに読ませていただいています。抱樸館を卒業し地域で生活されている方の高齢化、そこへのサポートの必要性について書かれているのが印象的でした。抱樸館のような施設が大切な一方、やはり地域のチカラ、日々の暮らしのコミュニティ単位で支え合っていくチカラが必要不可欠ですね。(山口40代)

抱樸館福岡の入居・退居などの状況

開所から2026年8月末までの入居者数



2026年8月末現在の入居者

78名(定員81名) 男性72名、女性6名

2026年7～8月の新入居者数・退居者数

新入居者数15名 退居者数14名

(注：8月末までの入居者数1,781名は、2度、3度入居した人も1名と数えています)

抱樸館熊本・抱樸館北九州の入退居の状況は特集の際にご案内します。

抱樸館を支える会の概要

抱樸館を支える会の目的

以下の事業・活動を目的としています。

- ◇ホームレス者支援事業
- ◇抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
- ◇これらに附帯又は関連する事業

設立年月日 抱樸館福岡が2010年5月に開設されるのにあわせて同年4月10日に設立

正会員 以下の18団体が正会員です。
グリーンコープの各単協(15生協)
グリーンコープ連合会
NPO法人 抱樸(旧：北九州ホームレス支援機構)
社会福祉法人グリーンコープ

賛助会員 2026年8月末の賛助会員は、以下の通り
グリーンコープの共同購入組合員 11,581名
グリーンコープの店舗組合員・一般の方 139名
企業賛助会員 96社

その他(抱樸館の所在地)

抱樸館福岡(福岡市東区) 2010年5月開所
抱樸館北九州(北九州市八幡東区) 2013年9月開所
抱樸館下関：新たに開設を検討中
抱樸館熊本(熊本市中央区) 2018年12月開所

抱樸館を支える会 賛助会員・企業賛助会員 募集中！

グリーンコープの
共同購入組合員の方

1300 「抱樸館を支える会」年会費

1口 月250円×12回
(年間3,000円)

毎月の商品代金と一緒に250円引き落としとなります。

1299 「抱樸館を支える会」年会費

一括払い 1口 1,000円

お申し込みいただいた月の商品代金と一緒に、毎年一括で引き落としとなります。

※賛助会員(会費)は毎年自動更新となります。二重のお申込みにご注意ください。

一般の方、グリーンコープの
店舗組合員の方

1口1,000円の賛助会費を
何口でも申込み出来ます。

郵便振替でお願いします。

郵便振替 01710-0-123003

一般社団法人 抱樸館を支える会

企業賛助会員

企業賛助会員は、会費が1口10,000円です。出来れば3口(30,000円)以上でお願いします。お申込みは、「抱樸館を支える会」事務局まで。

「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目
5番1号 社会福祉法人グリーンコープ内
☎ 092-482-1964

抱樸館の連絡先

抱樸館福岡

(電話 092-624-7771 FAX 092-624-7772)
〒813-0034 福岡市東区多の津5丁目5-8

抱樸館北九州

(電話 093-883-7708 FAX 093-883-7705)
〒805-0027 北九州市八幡東区東鉄町7-11

抱樸館熊本

(電話 096-245-7521 FAX 096-245-7522)
〒860-0811 熊本市中央区本荘